

2026.3.28 sat — 6.28 sun

アバロス村野敦子
写真展

Atsuko Murano Abalos
Photo Exhibition

Side Stories
建築と喪失

*Side Stories:
Architecture and Loss*

八ヶ岳美術館
原村歴史民俗資料館

Yatsugatake Museum of Art, Hara
Hara Village Folk and
Historical Heritage Resource Center

開館時間：9:00-17:00 (最終入館16:30、会期中無休)

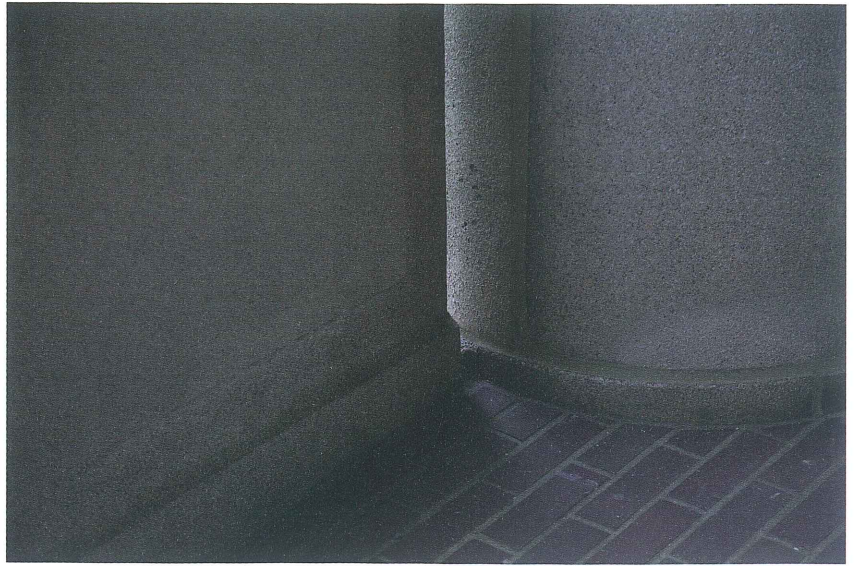
主催：八ヶ岳美術館、原村、原村教育委員会 助成：公益財団法人 窓研究所
機材協力：キヤノンマーケティングジャパン株式会社
会場構成：EIKA studio (榮家志保、橋本亜沙美、仁科緑) 什器製作：Atelier Tuareg
協賛：スワテック建設株式会社、諏訪信用金庫、株式会社イツミ、たてしな自由農園

アバロス村野敦子写真展 Side Stories —— 建築と喪失

Atsuko Murano Abalos Photo Exhibition
Side Stories: Architecture and Loss

2026年3月28日(土)～6月28日(日)
八ヶ岳美術館(原村歴史民俗資料館)

〒391-0115 長野県諏訪郡原村17217-1611
Tel. 0266-74-2701 Email. info@yatsubi.com
https://yatsubi.com



八ヶ岳美術館ではこのたび、写真展「Side Stories: 建築と喪失」を開催いたします。建築家・村野藤吾を祖父に持つアバロス村野敦子は、阪神淡路大震災で倒壊した祖父の自邸への追憶を起点に、それまで撮影してきた建築の写真群(現存しない建物を含む)を、自身の「体験」のイメージとして再構築しています。建築は一目で全容を把握することが難しく、またある時代を人とともに歩むという意味で時間的です。自らの「人生の出来事」として祖父の建築をまなぐす写真家は、「記録」のイメージとしてではなく、建築との対話の表れとして写真を捉えます。それは現在の一瞬を平面化するという写真の限界を自覚しつつも、この現在を未だ見ぬ誰かに受け取ってほしいという期待とともに、様々な物語を生みまた失われていく建築に向き合い続けた痕跡です。こうした写真を通して「建築の本当の当事者とは誰なのか」を問い直すアバロス村野敦子の作品を、村野藤吾が設計した建築空間のなかでご覧いただけます。

[イベント] 作家とゲストによるトーク すべて13:30～15:00/要予約/無料(美術館入館別途)

4月5日(日) ゲスト: 笠原一人(建築史家、京都工芸繊維大学准教授)、
倉方俊輔(建築史家、大阪公立大学大学院工学研究科教授)

5月17日(日) ゲスト: 飯沼珠実(アーティスト)、高野ユリカ(写真家)

6月6日(土) ゲスト: 佐内正史(写真家)

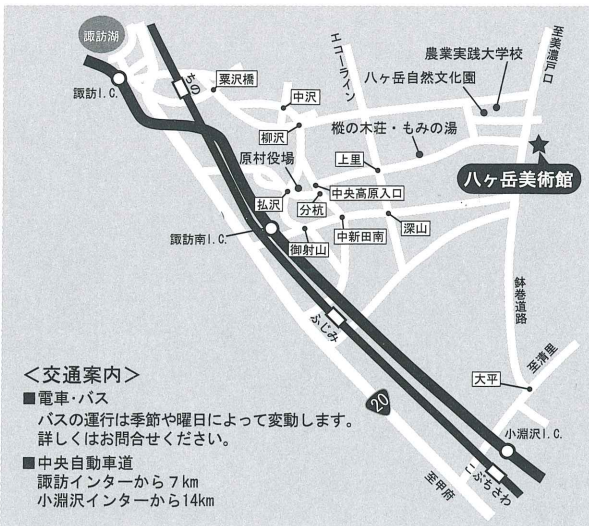
諸般の事情により、関連イベントの内容と日時に変更が生じる場合があります。最新情報は、当館のホームページ、もしくはfacebookでご確認ください。

2

開館時間=9:00～17:00(最終入館16:30、会期中無休)
入館料=大人(高校生以上):510円(460円)、小中学生:250円(200円)

※()内は20名以上の団体料金。

※諏訪6市町村内の小中学生は学生証や図書カードなどの提示により無料で入館できます。

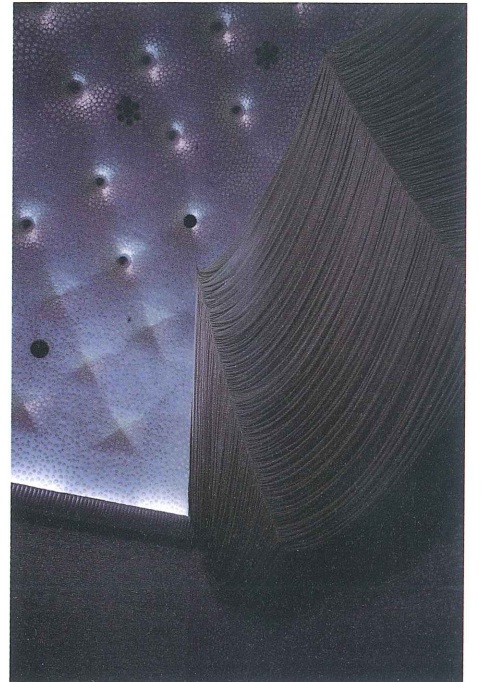


アバロス村野敦子

写真家。兵庫県宝塚市出身。聖心女子大学文学部卒業。アート・インスティテュート・オブ・シアトル写真学科(米国)卒業。



八ヶ岳美術館は自然と調和し合う美術館として、建築家・村野藤吾(文化勲章受章者)により設計されました。連続したドーム型の建物の天井はレースカーテンの絞り吊りになっています。落ち着いたやわらかな明かりの中で作品をゆったりとご覧いただけます。



3

1. 宝塚市庁舎 兵庫県宝塚市 2. 箱根樹木園休息所 神奈川県足柄下郡 3. グランドプリンスホテル新高輪「飛天の間」(旧新高輪プリンスホテル) 東京都港区